

「アベ政治を許さない」

全国一斉メッセージ



国会前で「アベ政治を許さない」のメッセージを掲げる沢地久枝さん(右)と鳥越俊太郎さん。18日午後、東京・永田町で

安全保障関連法案の成立を目指す安倍政権に反対の意思を示すと、「アベ政治を許さない」とのメッセージが書かれた紙が十八日、全国各地で一斉に掲げられた。『関連の面』

作家の沢地久枝さんやジャーナリストの鳥越俊太郎さんらが呼び掛けた。各地で開かれた集会やデモの参加者は、俳人の金子兜太さんが書いたメッセージのコピーを手に法案の不当性を訴えた。

東京の国会前には約五千人(主催者発表)が集まった。鳥越さんは「首相のやり方に反感を感じても、どうしていいか分からずにいる人は多い。このメッセージで心を一つにしたい」と語った。

東日本大震災で大きな被害が出た宮城県名取市。小雨が降る中、被災者ら十五人が集まった。津波で自宅が全壊した主婦大友慧美子さん(左)は「私たちは多くの命を失った。震災で世話になった自衛隊員や日本の未来を担う若者の命を脅かす政治を絶対に許さない」。

名古屋市中心部の繁華街・栄にある広場では参加者がシュプレヒコールを上げた。法案を遺憾と指摘した小林節慶応大名誉教授も参加し「今回のような暴挙を強行する政権はもはや交代させるしかない」と呼び掛けた。

広島市中心部の商店街でも、炎天下で被爆者ら約百二十人が道行く人に反感を訴え、生後三カ月で原爆を体験した広島市佐伯区の無職川本正晴さん(右)は「ヒロシマが立ち上がらないと、平和が伝わらない」。

JR広島駅南口の集會に参加した広島県呉市の中学三年金本ひかるさん(左)は「一人の日本人として戦争はしたくない」と述べ、背筋を伸ばした。

米軍普天間飛行場(沖縄県宜野湾市)の移設先、名護市辺野古沿岸部に近い米軍キャンプ・シュワブ前でもメッセージが掲げられた。那覇市の会社員古堅克子さん(左)は「基地押しつけと同じで強引。国民の意見を無視するやり方は許さない」と批判した。